

例年になく今年の降雪は早く、10月下旬からはすでに冬模様となった北海道オホーツク地方でした。その後は旭川や札幌方面よりは積雪量は少ないものの、路面状況はツルツル、さらには-20℃近くを記録するなど生活面でも厳しい季節を迎えています。

今年は本学同窓会事務局長大河原則夫様の参加を頂き、北海道オホーツク支部同窓会を12月3日(土)に北見市で開催しました。

当日、同窓生12名の出席を得て総会を始めました。総会の中では大河原さんからの資料を通しての近況説明、さらに現在の学生数が2,400名以上いることに皆驚き、在校生や卒業生のすばらしい活躍などを聞くことが出来、母校の様子を知ることが出来ました。そして懇親会へと移り各同窓生の近況など様子を聞き懇親を深めました。その後2次会へと移動し、限られた時間でしたが、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。大河原さんには改めて感謝申し上げます。

今後の課題として、参加年代層が40歳以上という状況からして、少しでも30代そして20代の若い同窓生の参加を募るにはどうしたらいいかとも考えなければなりません。来年度の同窓会では少しでも改善したいと思っています。

最後に支部同窓会開催に際し、本学同窓会事務局には大変お世話になり心からお礼申し上げます。北海道オホーツク支部は今後も同窓会の絆を深め努力を続けていきますので、これからもよろしく願いいたします。

次年度は開校50周年を迎えます母校仙台大学の益々のご発展を祈念申し上げ、簡単ですが報告とさせていただきます。

同窓会事務局長：大河原則夫 様

参加者：秋山拓朗(8期)、皆川正広(9期)、大原 寛(10期)、高橋正美(12期)、
奈良孝伸(12期)、信本武彦(12期)、佐々木徹(13期)、野村克仁(14期)
須藤清峰(20期)、森 敦(20期)、兼平由子(27期)、兼平昌明(29期)